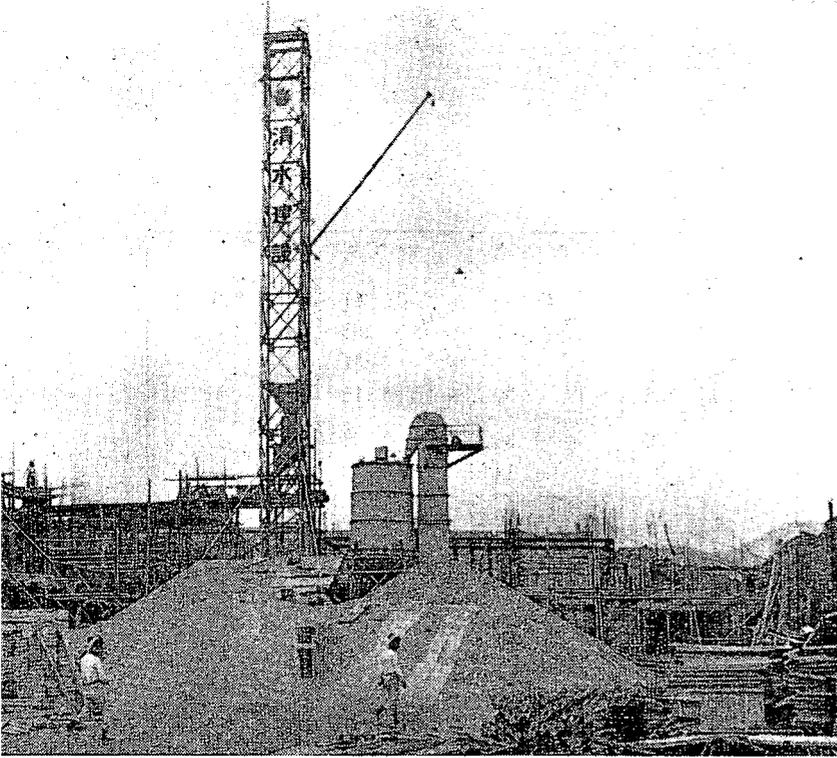


昭和36年度 事業報告

(1961. 4. 1)
(1962. 3. 31)



新館

1 新館建築状況

府民待望の府立図書館は、前年度京都府総合資料館建設懇話会において京都府総合資料館の構想となって出発したが、その後建築設計家富家宏泰氏のプランが出来上がり、9月6日の第3回建設懇話会において承認された。ついで、府立種鶴場・府立大学農学部農場移転の諸準備を経て、12月8日起工式が行われた。工事請負業者は清水建設株式会社である。

つづいて、2月府会において、新築経費約4億円のうち37年度分2億円が議決された。(35・36年度で1億1千万円議決済)

2 館内利用者 (本館および市内3分館)

本館および市内3分館における、本年度内利用者総数は、336,632人(1日平均1,214人)である。これを戦前最高の昭和10年の利用者総数129,782人(1日平均399人)と比較すると、その約3倍に当たるわけである。

戦前戦後における図書館の館内利用者の動きは右のとおりである。

	戦 前	戦 後
利 用 者 数	4,288,759 明治31—昭和20 48年間	4,353,061 昭和21—昭和36 16年間
女子利用者数	224,707 明治39—昭和20 40年間	1,182,946 昭和21—昭和36 16年間

京 都 府 立 図 書 館

京都市左京区岡崎成勝寺町 9 電・京都7—0069・2450

3 京都市内4館の利用者の内訳

	本館	伏見分館	中京分館	上京分館	合計
利用者数(人)	235,579	43,652	25,040	32,361	336,632
利用冊数(冊)	215,441	45,441	46,346	38,298	345,526
開館日数(日)	276	279	281	281	—
1日平均利用者数(人)	854	156	89	115	1,214
男(%)	74	66	86	68	73
女(%)	26	34	14	32	27
一般(%)	13	10	70	5	16
学生(%)	87	90	30	95	84

学生の類別は、岡崎本館における調査では

大学生	23%	高校生	34%	中学生	11%
小学生	7%	各種学校	25%		

となっている。

4 開架図書の利用状況

岡崎本館では、大閲覧室および学生室の一部に開架書架を設けて、新刊書・基本図書・雑誌をおき、児童室に完全開架制を行っている。開架図書の利用は非常に多く、本館における利用冊数の約8割を占めている。

大閲覧室	約 10,000冊	学生室	約 3,000冊	児童室	約 3,000冊
------	-----------	-----	----------	-----	----------

5 利用図書の内容

岡崎本館での図書利用冊数は、約22万冊で1日平均781冊である。

これを図書の分類別にみると右のとおりである。

総記	2.6%	自然科学	13.2%	語学	6.4%
哲学・宗教	3.2%	工学	4.3%	文学	13.4%
歴史・地理	11.1%	産業	1.9%	児童	16.7%
社会科学	11.4%	芸術	4.1%	新聞・雑誌	11.7%

6 館外貸出冊数

(1) 団体貸出(地方6分館および貸出文庫)

地方6分館および貸出文庫において、各種団体に対し、長期貸出(期間1ヵ月)を行っている。本年度内の貸出冊数は、53,970冊である。

なお、これらの長期貸出図書は、1ヵ月の貸出期間中に、各冊平均3人の手を経て読まれるから、この分の本年度利用者総数は約162,000人と推定される。

(2) 個人貸出(中京分館)

中京分館では、利用者の便宜をはかり個人への館外貸出を実施している。毎月約400冊の貸出があり、本年度内貸出総数は4,801冊である。

7 読書相談

近代図書館の最も大切なサービスは読書相談である。このため本館は専任の職員を配置して、利用者のあらゆる質問に答えられる態勢をとっている。

質問の種類は1時間以上も調査を要する複雑なものもあれば、ごく簡単な数分で片づくものもある。館員の直接口答による回答とならんで、最近電話によるものや、郵便によるものが多くなってきた。利用者の範囲は、京都府内はもちろん、他府県からの質問も相当あり、最近は外国にある商社からの照会もあった。読書相談業務が世間に周知されてき

たためであろう。なお官公庁・会社・工場・報道機関・文化団体からの利用が盛んであるが、京都の特殊性として、郷土の産業 — 染織・図案・映画製作・電機・出版等のものが多い。

また特許庁発行の特許公報・実用新案公報・意匠公報・商標公報・審決公報の利用も読書相談室において取扱っている。

口 頭	9,583件	郵 便	158件	開室日数	276日
電 話	2,369件	計	12,110件	1日平均	43.9件

8 児 童 室

少年少女のためによい読書環境をつくることはきわめて大切である。本年度の児童室利用者数は13,426名（男 57.8%、女 42.2%）で、図書館附近の小学校の児童が多い。

なお、利用児童が図書委員となって児童室運営に協力している。

9 蔵 書 冊 数

昭和36年度末における当館の蔵書冊数は約27万6千冊となった。その各館別の内訳は右のとおりである。

本年度内における受入図書数は6,656冊（購入5,057、寄付1,121、編入受入497冊、数量更正による減19）で、使用頻度が高いため使用不能になったための払出、および亡失による払出図書数は246冊であって、6,410冊の純増となる。

本 館	228,536(冊)	峰山地方分館	5,392(冊)
伏見分館	7,375	宮津地方分館	5,230
中京分館	6,216	綾部地方分館	4,886
上京分館	6,545	園部地方分館	4,117
		北桑地方分館	3,334
		木津地方分館	3,813
		合 計	275,444

10 分 館

(1) 伏見分館（昭和25年2月開設）

伏見地区は岡崎本館から約8kmはなれ、分館の必要性は高い。この分館は、はじめ他の建物の一部を借用して出発し、昭和29年快適な新館舎の落成を待って移転再開した。敷地859平方メートル、閲覧室231平方メートル、座席120である。独立館舎をもった初の本格的分館（コミュニティー・ランチ）、として、将来洛南地区文化センターの役割を果たす日が期待される。

本年度の入館者数は、1日平均156名、1日最高377名であった。

(2) 中京分館（昭和24年6月開設）

この分館は、当初、丸善京都支店の地下室を借用してきたが、丸善支店の都合により、一時閉鎖し、昭和32年6月に烏丸丸太町下ル京都府烏丸庁舎の3階228平方メートルを利用して再開した。

中京分館は、新刊の小説・随筆・新聞・雑誌を中心に、完全開架制をとり、気軽な市民の読書室となることを目標としている。なおこの分館の所在地は、京都商工会議所に近く、商工業者の利用を促進する目的をもって、商工業関係の図書・雑誌・パンフレット類の収集につとめている。

本年度の入館者数は1日平均89名で、一般人が学生よりもはるかに多く70%を占めている。

なお、利用者の便宜をはかり、個人への館外貸出を実施しており、毎月約400冊の貸出がある。

(3) 上京分館（昭和26年4月開設）

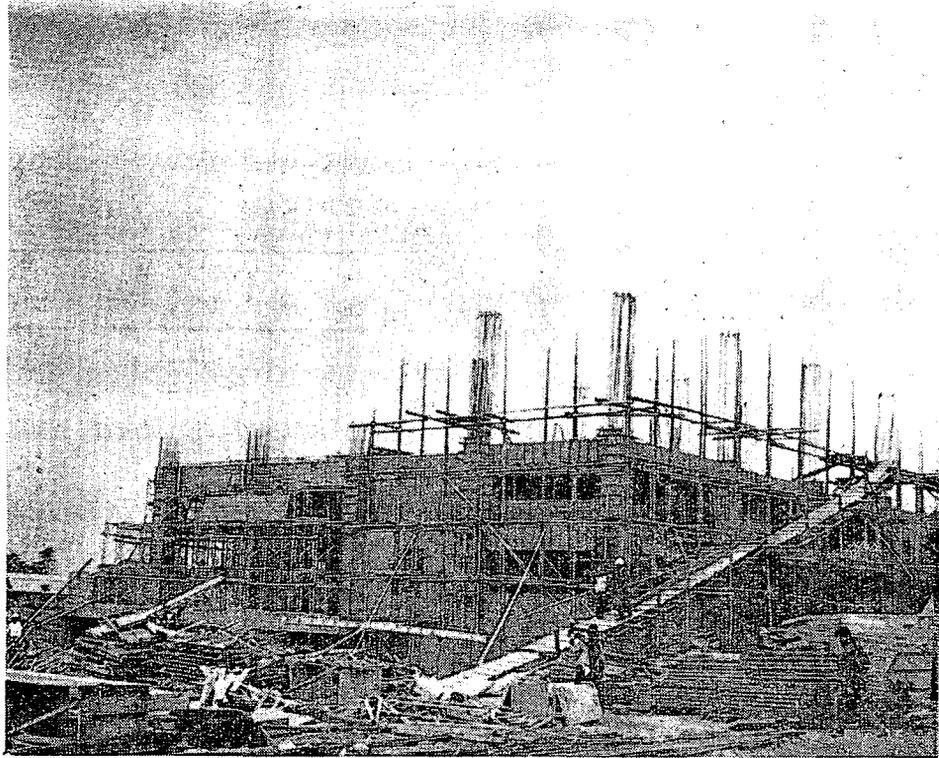
京都市の北部地区も岡崎本館から遠く、ここに昭和26年から上京分館が設置され活動してきた。

昭和31年4月、それまで分館のため借用していた紫郊会館から、現在の北区等持院の故木島桜谷画伯の元画室に移った。ここは市電と郊外電車との交叉点、白梅町に近く、周囲は住宅地である。新館舎は約198平方メートルで、閲覧席約80を有し、広い庭を前に控えて、明るく快適である。

本年度入館者数は1日平均115名、1日最高285名であった。

(4) 地方分館

昭和25年に、峰山・宮津・綾部の3館、次いで昭和27年に園部・北桑・木津の3館が開設され、現在の6館である。



工 事 中 の

これらの地方分館は地域内の公民館・婦人会・読書会などの団体に対して、30冊ないし50冊を1ヵ月で、団体貸出するものである。

なお、文部省の国庫補助を得て、「青年学級文庫」を購入し、地方6分館および本館貸出文庫に配置して、「青年学級」の読書活動を援助している。

11 貸 出 文 庫

本館内にあり。主として京都市内および近郊の団体に対する貸出を行っている。本年度内における利用団体数105、利用冊数4,098冊であった。

12 経 費

本年度諸経費は約2,650万円で内訳は右のとおりである。

なお、本年度末における館員数は、主事39名、主事補9名、事務員1名、労務員1名、計50名である。

館 名	利用団体数	利用冊数(冊)
峰山地方分館	440	8,333
宮津地方分館	455	7,123
綾部地方分館	172	8,206
園部地方分館	315	9,280
北桑地方分館	215	9,889
木津地方分館	252	7,041
合 計	1,849	49,872

費 目	金 額	比 較
人 件 費	21,415 <small>千円</small>	80.8(%)
図書館資料費	3,015	11.4(%)
（ 図 書 費	2,217	—
定期刊行物	798	—
その他の経費	2,070	7.8(%)
計	26,500 <small>千円</small>	100.0(%)

京 都 府 立 図 書 館 所 在 地 一 覧

館 名	所 在 地	電 話	館 名	所 在 地	電 話
本 館	京都市左京区岡崎成勝寺町9	0069 (7)2450	宮津地方分館	宮津市鶴賀	宮津2350
伏見分館	京都市伏見区瀬戸物町746	02548	綾部地方分館	綾部市並松町	綾部 13
中京分館	京都市中京区烏丸通丸太町下ル(京都府烏丸庁舎3階)	0916	園部地方分館	船井郡園部町字小桜町	園部 250
上京分館	京都市北区等持院東町56	49396	北桑地方分館	北桑田郡京北町字下中	弓削 40
峰山地方分館	中郡峰山町字丹波	峰山 232	木津地方分館	相楽郡木津町字内垣外	山城木津 101